

令和2年度第2回柏市地域包括支援センター運営協議会 会議録

1 開催日時

令和2年11月5日（木曜日）午後1時30分～2時50分

2 開催場所

ウェルネス柏4階 研修室

3 出席者

(1) 委員

濱田委員(会長), 植野委員, 鎌田委員, 高橋委員, 中村委員, 羽鳥委員, 村上委員

(2) 市

高橋保健福祉部長, 能崎保健福祉部次長兼法人指導課長, 橋本福祉政策課長, 梅澤地域医療推進課長, 宮本高齢者支援課長, 早川保健福祉部次長兼障害支援課長代理

(3) 事務局（地域包括支援課）

吉田課長, 竹本専門監, 村山統括リーダー, 横山副主幹, 秋谷副主幹, 長谷部副主幹, 布施主査, 八百板主事, 相澤主事, 堀毛主事

(4) 地域包括支援センター

柏北部地域包括支援センター長（山本 敏子）

柏北部第2地域包括支援センター長（俵 はるみ）

北柏地域包括支援センター長（齋川 英文）

北柏第2地域包括支援センター長（菅野 達郎）

柏西口地域包括支援センター長（笠原 大幸）

柏西口第2地域包括支援センター長（小野田 光芳）

柏東口第2地域包括支援センター長（志摩 あきの）

光ヶ丘地域包括支援センター長（本部 美和）

柏南部地域包括支援センター長（神津 南）

柏南部第2地域包括支援センター長（橋本 佳子）

沼南地域包括支援センター長（日笠 千晴）

4 議題

(1) 地域ケア会議について

(2) 第8期柏市高齢者いきいきプラン21について

5 報告事項

(1) 介護予防支援及び総合事業に関わるケアマネジメント業務の委託について

6 議事

(1) 地域ケア会議について

【事務局より説明】資料1のとおり

【柏東口第2地域包括支援センター】

柏東口第2地域包括支援センターでは、今年度も認定栄養ケア・ステーション柏市連絡協議会の中村会長と連携しながら市民向けの栄養講座を実施していく。

柏市で新たに開始する多職種連携による自立支援及び重度化予防試行事業では、フレイル予防等に関心が薄いかたに対しても啓発活動が届くことを期待している。

【濱田会長】

民間企業と連携した居場所や見守りへの提案や地域資源について、把握している実情や課題について、委員から意見を伺いたい。

【鎌田委員】

北柏第2地域包括支援センターの取り組みは地元の仕組みをうまく利用できており良い。

外出するための移動手段がないことが市全体の課題だと考えている。地域のかたにサロン等を紹介しても、会場までの交通手段がないと参加することができない。主な移動手段はバスやタクシーになるが、バス停が家から遠いことや、利用料が高いことが課題となる。イオンモール柏のバスや流山市のコミュニティバスを利用しているかたもいる。我孫子市では民間企業バスを地域の高齢者も利用できる仕組みがあり、そのような民間企業と協働した仕組みが柏市にもあるとよい。

また、自治会や町会の地域のかたは、想像以上に民生委員のことをよく知らないかたが多いため、民生委員改選前等に民生委員活動を理解してもらうための意見交換を実施している。

民生委員活動にとって、地域の困りごとを相談に行ける地域包

括支援センターの存在は、強力なバックアップとなっている。

【羽鳥委員】

自分が住んでいるマンションには、東日本大震災の際に発足した、高齢者を助ける「救援隊」というものがある。支援者約30名、要支援者約15名が登録している。今年は新型コロナウイルスの影響で実施できていないが、毎年訓練を実施している。

【村上委員】

新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催できていないサロンが多い。具体的な感染症対策や、定員が定められていない会場の適正な人数が分からない現状がある。また、定員を定めるとこれまでの参加者が一部参加できなくなってしまうたり、全員を呼ぶと距離をとることが難しく、様子を見ている状況。定期的に参加者へお手紙や声掛けはしている。

再開する際に、ボランティアには感染対策が分からないため、専門職や市の職員が実際に会場を見に来て、具体的にどのような感染症対策をとればいいのか示してくれるとよい。

【中村委員】

移動手段が一番の課題だと思う。地域包括支援センター単位での事業となると、送迎がないと参加することが難しいケースが多い。地域包括支援センター単位で、送迎付きの市民の活動の場や学習の場ができるとよいと考えている。

北柏第2地域包括支援センターのように、商業施設や地域のコンビニと連携した送迎の取り組みができればよいと思う。

【植野委員】

介護保険申請の理由として、自宅での入浴ができないことや、運動不足・体力不足を挙げるケースが多い。介護保険サービス「卒業」後、自宅での入浴は難しいため近くの入浴施設に行くかたがいる。そのようなかたが入浴施設に通いやすいよう移動手段が充実するとよい。また、介護保険「卒業」時に、民間のジムへの入会金が補助される等の制度を、市と民間企業が連携して行うことができれば、地域で高齢者を見守ることに繋がると思う。

介護保険の認定審査会では、地域のたすけあいサービスで生活

できそうなかたでも，医師や看護師に勧められて介護保険を申請しているケースを目にすることがある。医療関係者から地域包括支援センターに一度相談するように提案してもらえれば，より適切な支援に繋がると思う。

【高橋委員】

居宅療養管理指導のかたや薬局に来てくれる患者の内服状況や健康状態は見守れるが，それ以外のかたとはあまり関わる機会がない。新型コロナウイルスの影響で薬局に来られないかたや自分の力で来られなくなるかたもいる。薬剤師に相談したいことがあれば，ケアマネジャーや民生委員から声をかけてもらえると地域に出ていきやすい。

自宅に薬を配達する等のサービスも行えるため，積極的に声をかけてもらいたい。

また，高齢者は移動が困難になると途端に医療機関から離れてしまう。タクシーは料金が高く，周りの人を頼るのも限度があるため，より移動手段が充実するとよい。

【鎌田委員】

スライド26に示されている63市町村中の柏市の順位は，どのような基準で選ばれた市町村の中での順位なのか。

【事務局】

健康とくらしの調査に参加している63市町村。幅広い規模の市が参加しており，近隣市では松戸市や千葉市が参加している。

【濱田会長】

様々御意見をいただいたが，事務局として，今後の方向性などはあるか。

【事務局】

北柏第2地域包括支援センターの取り組みである事業所バスの利用といった物の利用だけではなく，協賛金の提案や入浴施設やスポーツクラブを利用しやすい環境整備，また，配達については，コロナ禍の影響もあり市民のニーズが高いかもしれないため，そのような隠れたニーズを市でしっかり拾い上げ，対応していく。

また，現在，社会福祉協議会と支えあい推進員で，コミュニテ

イエリアごとのたすけあい団体やサークル活動の情報を集約した冊子を作成し、オンラインでも提供できるよう準備をしている。そのような取り組みにも、本日いただいた御助言を反映していければと思う。

地域のサロンや通いの場は、コロナ禍で実施できていないところが多い。これまでの良さを踏襲しながらも、新しい形を確立していく必要がある。サロンや町会独自活動の再開支援については、社会福祉協議会と連携し、きめ細やかに対応していきたい。

(2) 第8期柏市高齢者いきいきプラン21について

【事務局より説明】資料2のとおり

【濱田会長】

ただ今の説明について、委員から意見や質問はあるか。

【鎌田委員】

中央地域や光ヶ丘地域でのセンター設置を想定しているのか。

また、柏市全体の人口も高齢者人口の推定同様に増加するのか。

【事務局】

現時点では選択肢の1つとしてそのように考えている。今回、お示しした内容については、今後の柏市健康福祉審議会高齢者専門分科会に諮っていく。人口については、数年は伸びていくと予想している。その後は減少の可能性もある。7 報告事項

(1) 介護予防支援及び総合事業に関わるケアマネジメント業務の委託について

【事務局より説明】資料3のとおり

<質疑応答>

なし

8 傍聴

なし

9 次回開催日時（予定）

令和3年2月10日（水） 13時30分から